



## 泣き声も

## 赤ちゃんからのメッセージ



赤ちゃんが泣くと、とにかく泣き止ませようと焦ってしまうママも多いですが、見方を変えれば、泣き声は赤ちゃんからのメッセージだと思うのです。

大人が泣く時は、悲しい、淋しい、辛い、痛いなどが多いですが、赤ちゃんはそれよりも、自分で出来ないことを「何とかしてほしいよ」と伝えている場合が多いようです。行きたい場所に行けない、暑くてたまらない、お腹が減った、オムツが汚れて気持ちが悪いなど、自分で解決できないことや、人恋しくて寂しい、遊んでほしいのかまってもらえないなどの気持ちから「泣く」という伝達手段を用いるのです。

でも、赤ちゃんが思いを伝える方法は、

「泣く」だけでなく、オムツが濡れた時は身体をモゾモゾさせ、お腹が空いたときは指を吸い出し、暑いときは顔が赤くなる等、個人差はありますが、いろいろな見える形で表現しています。その時点で大人が気がついてあげれば、赤ちゃんは泣かなくても、思いを伝えることができます。

赤ちゃんにとって「泣いて思いを伝える」ことも、「泣く前に仕草で気づいてもらった」ことも、どちらも大切な経験です。要は、「赤ちゃんにもいろいろな思いがある」ことに気付き、丁寧に赤ちゃん向き合うことだと思います。